

「研究」でくらしに笑顔を
明るい未来を切り拓く 世界をリードする魅力ある大学へ

なごや先端研究開発センター員 木村幸太郎教授ご挨拶



学長補佐(研究力強化)
なごや先端研究開発センター員

木村 幸太郎 (Kimura Kotaro)

今年度4月より学長補佐(研究力強化)を務めております木村と申します。本センターは、「国際的な研究拠点の形成」「多様な臨床研究の活性化」「世界レベルの研究者の育成」「行政・地域課題研究の促進」という4つの柱を掲げています。

その中で私は、分野横断的かつボトムアップ的な「基礎研究の活性化」を軸に主に取り組んでまいりました。基礎研究は、応用研究や社会実装を支える重要な土台であり、大学全体の研究力を飛躍的に向上させるためには欠かせない存在です。本センターは、これからも全学の研究活動を支援し、その可能性を最大限に引き出すことを目指します。引き続き、皆さまのご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

研究力強化に向けた取り組み ①「卓越研究グループ支援」事業

概要

本学の複数研究科の研究者で組成される、卓越のかつ独創的な優れたアイデアで学際的研究分野を開拓し、さらに国際的な連携で研究を推進していくグループに対し、研究力の強化や次世代の研究者の育成を進め、新たな価値やイノベーションを生み出す研究拠点としての地位を築き、世界トップレベルの研究大学を実現するための活動を3年度にわたって支援する事業です。

令和6年度は、医学研究科の澤本和延教授、森田明理教授を代表とする2グループが採択されました！

脳神経科学の将来を担う若手研究者の育成と共同研究支援による研究力強化促進プロジェクト



医学研究科 脳神経科学研究所
神経発達・再生医学分野
教授 澤本 和延

本グループは、2019年に設立された脳神経科学研究所を基盤とし、**名古屋市大のすべての神経科学研究者および研究に興味のある方々とともに、世界レベルの研究拠点として発展することを目指しています。**

この目標達成のため、若手研究者の育成と共同研究の促進に取り組めます。具体的には、IBSセミナー、IBSリトリート、学生のための脳科学フェス、独立を目指す研究者のためのトレーニングなど、現在脳神経科学研究所で行っている活動に加え、「卓越研究グループ支援」事業の予算を活用した独自の支援として、「共同研究促進支援」、「神経科学卓越研究論文出版支援」、「独立前研究者支援」、「若手研究者支援」、「大学院生国内学会発表支援」を展開します。

グループ内の交流を促進し、共同研究のきっかけを作るため、2025年1月17日に、本グループのキックオフシンポジウムを開催しました。当日は130名以上の方々にご参加いただき、各ラボからの共同研究の提案や支援事業の紹介、さらに臨床医と基礎研究者の共同研究に関する総合討論が行われました。



研究活動の構想

脳研を基盤とし、先端的で国際性の高い世界レベルの研究拠点を形成するために以下の3つの研究活動を実施する

①脳神経科学研究活動をサポートするシームレスな研究拠点の形成

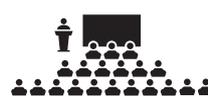


②国際的な研究拠点形成に向けた活動

国際的な人材育成支援事業を活用した若手研究者の海外派遣支援事業期間内の成果を共有する国際シンポジウムの実施



人材育成のための
海外派遣



国際シンポジウム

③若手研究者の人材育成

若手研究者を自立させるための特別指導体制
人件費支援事業を活用した特任助教の雇用



キャリアアップを目指す面接対策

支援終了時の達成目標

総出版論文数70本、国際共著論文20本、その内、質の高い研究論文(IF8点以上)の国際共著論文5本の出版

本グループへの参加を希望される方や
質問がある方は、お気軽にご連絡ください。

詳細については右記のウェブサイトをご
覧ください。

神経科学卓越研究
グループHP



脳神経科学研究所
HP



光が切り拓く新たな研究開発拠点形成



医学研究科 加齢・環境皮膚科学分野
教授 森田 明理

このたび、私たちの研究グループは「卓越研究グループ支援」事業に採択されました。この支援を受けて、研究活動をさらに深化させることが可能となり、大変光栄に感じています。

「光技術研究拠点」において、光の波長特性を活かした難治性皮膚疾患の治療技術開発や光を自由自在に扱う技術の開発などをテーマに研究を推進し、**光医学・光生物学・化学分野で国内外トップクラスの拠点を目指します**。革新的な光技術を開発・応用するとともに、光を利用することの魅力を皆さんに感じてもらい、あわせて、若手研究者の育成や国際共同研究も進めていきます。

紫外光から可視光・赤外線まですべての光を応用し、光の波長特性を最大限活用し、皮膚疾患、免疫制御、組織修復など幅広い医療領域において、新しい治療技術を開発します。医学だけでなくとどまらず、光に関わるありとあらゆる生命現象を研究・利用し、革新的な光技術の基盤を整備し、国際的な研究拠点にしたいと思えます。

まず、基本の4つの研究テーマを据え、「①技術基盤開発」から「②基礎となる探索研究」、「③システム構築」、「④応用・社会実装」までを一貫して進めています。また植物の成長制御の応用など、**光を応用するすべての研究者を随時大募集しております**。

大学院生をはじめ、多くの若手研究者の参画・育成にも努めていきます。気軽に、皆さんからのセミナーなどの参加を期待しております。

光が切り拓く新たな研究開発拠点形成HP
セミナー等の情報はこちらから



研究活動の構想

光の特性を最大限に活用し、難治性疾患、がん治療、免疫制御、組織修復など幅広い医療領域における新しい治療技術を開発・応用する。

医学・薬学・工学の融合領域(名古屋市立大学の優位な学問領域)

1 技術基盤

光の波長特性を生かした難治性疾患への基盤的技術開発



2 探索

光線による免疫制御の基礎的解析



3 システム構築

光を自由自在に扱う最先端フォトニック結晶技術開発



4 応用

糖、腫瘍ホーミングペプチド連続クロリンe6による次世代光線力学による癌免疫に及ぼす効果の検討



光医学・光生物学・化学で国内外トップクラスとなる大きな可能性

— 本研究活動のゴール —

最終的な目標は、光を利用して、難治性疾患や癌の治療に新しい技術を導入することである。光を使った治療法による免疫制御のメカニズムを解明し、新しい治療アプローチを確立することを目指している。

研究力強化に向けた取り組み ②「国際共同研究活性化支援」事業

概要

本学の国際ネットワークを強化し、国際共同研究を活性化することを目的として、国際的な共同研究等を実施する教員等を海外の大学等研究機関へ派遣するための経費及び海外の大学等の研究者を招へいするための経費を支援する事業です。



医学研究科
免疫学分野
教授 山崎 小百合

この度は、国際共同研究活性化支援事業に採択いただき、有難うございます。本事業で、イタリアのジェノバ大学免疫学Guido Ferlazzo教授を招聘させていただきます。Ferlazzo教授と私は米国ロックフェラー大学Steinman教授(樹状細胞発見の功績で2011年ノーベル医学賞受賞)の研究室で共に研究をしました。Ferlazzo教授はNK細胞と樹状細胞を専門にしています。

Ferlazzo教授には、これまでも講義やセミナーを行なっていたいただき、共同研究を推進して参りました。今回は1ヶ月間の滞在のため、より多くの学生や研究者と密にDiscussionでき、共同研究の推進が期待され、本学の国際的な若手育成にもつながると考えます。

この素晴らしい機会に感謝申し上げます。



公募状況

Check!!

対象者	事業内容	募集期間	掲載	QR
臨床研究を行う方	臨床研究の実施奨励(臨床研究奨励制度) 臨床研究法上の臨床研究を新たに主導的に実施する場合、 <u>研究費(50万円/件)や論文投稿料(50万円/件)</u> を支援します。	随時	市大病院HP ホーム > 診療科・中央部門紹介 > 中央部門 > 臨床研究戦略部	
大学院生等	国際学会発表等支援事業 将来研究者を目指す大学院生等に対して、海外で開催される国際学会での研究発表、海外での共同研究、海外の研究者からの指導で海外に行く際の <u>渡航費を、アジア地域15万円、それ以外の地域30万円を上限として支援</u> します。	令和7年度分 5月、8月、11月	大学HP>国際交流・留学>在学生の方へ>国際学会発表支援事業	
教員	令和7年度第2回研究代表者に対する人件費支援事業 新たに雇用する特任助教の <u>人件費の7分の5を上限</u> とした金額を大学から補助	令和7年度第2回 4月7日~5月26日 正午	イントラ>研究・産学官連携>各種研究費	—

公募要項等をよくご確認願います。